

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		きりんのあくびkidsいまざと				公表日		2025年 4月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		動の活動と静の活動を分けて行うスペースがあり、学習やクールダウンを行う個室があります			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		個別課題や集団活動を安全に行うことができる職員配置にしています			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚支援を多く取り入れて構造化できるようにしています	肢体不自由児の利用が無い為、入り口とトイレに段差があります 今後受け入れる場合があれば改善いたします		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日欠かさず清掃・消毒を行っています			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習や個別課題、クールダウンなどで利用できるように個室やパーテーションを用意しています			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議で振り返りを行い、職員全体で改善点を考えて次へ繋げています			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様に対して事業所評価を実施し、ご意向を職員で共有して業務改善に繋げています			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議で意見があれば上げてもらっています			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者委員会は制定していません		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な社内研修を行い、事業所でも定期的に研修を行っています 外部の研修にも積極的に参加しています			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表しています			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを元に保護者様とモニタリングを行ってから個別支援計画を作成しています			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で多角的に見る為に計画作成前にカンファレンスを行っています			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員に共有し、常に確認する事ができるようにして、個別支援計画に沿って個別活動や集団活動を行っています			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達年齢が分かりやすいアセスメントシートを使用しています			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者様との面談や他事業所と連携を図り、その子に必要なと思われる項目を設定しています			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員で考え、行っています			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		1カ月のプログラムを作成して固定しないように各職員が考えています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		1人ひとりの課題に合わせた個別活動と集団プログラムを組み合わせ作成した個別支援計画に沿って支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼でその日のプログラムの目的・ねらいを打ち合わせています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後に子どもの様子や保護者様からの引継ぎ事項、ヒヤリハットの共有を行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録に関しては主観を入れずに客観的事実を記入するように徹底しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度、モニタリングを行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		複数個の活動を組み合わせています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。			複数の選択肢を提示して自己決定できるように支援をしています	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管やセラピスト、担当職員が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		必要であれば連携を取らせていただきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有はこまめに行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様から要望があれば情報共有させていただきます	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ高校3年生の児童の利用がありませんが利用あり、保護者様の要望があれば情報共有させていただきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		必要な場合は機会を設けていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、実現していませんが、今後検討していきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加しています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		取り組んでいる課題の内容や成長についてお伝えしています また活動に参加している様子も写真でお伝えしています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的に行われているペアレント・トレーニングの研修を保護者様へ発信しています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングを行って意向を確認しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児発管が説明を行い、個別支援計画の同意を得ています	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		常に相談しやすいようにこまめに保護者様へ連絡を取るようにし、必要であれば面談も設定しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後は保護者会を行えるように努めていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった場合は迅速かつ丁寧な対応を心がけています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のお便りの発行やSNSなども活用して発信しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報書類は鍵付きの書庫で保管しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者様へ伝わりやすい方法でお伝えするようにしています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		事業所内への招待はしていませんが、季節のイベントで近隣の商店街の方と交流する機会を作っています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、契約時に説明を行っています また発生を想定した訓練も定期的に行っています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定をし、定期的な訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認をし、定期的に変化がないか確認しています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認して、職員が確認できるように一覧表にしています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、リスク管理が出来るように職員に研修や訓練を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に確認しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		各職員が毎月ヒヤリハットを出していて、全職員で共有して再発防止について全体で検討しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を定期的に行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を制定し、契約時に説明を行っています	